

令和5年度 堺市高齢者支援ネットワーク会議の
ご意見及び市の回答について

- 開 催 日 令和5年10月6日
- 報 告 案 件 1 堺市地域ケア会議・高齢者支援ネットワーク会議について
 - 令和4年度の取組と課題 ・ 令和5年度各区高齢者支援ネットワーク会議の報告と課題について
 - 2 令和4年度の認知症施策に関する取組について
 - 3 地域ケア会議の取組事例について

	いただいたご意見	市の回答等
○堺市地域ケア会議・高齢者支援ネットワーク会議について（R4年度の取組と課題・R5年度各区高齢者支援ネットワーク会議の報告と課題）		
1	高齢者支援ネットワーク会議全体会議は3層構造といっているが、地域や圏域の課題があがってこないと感じている。全体会議の内容を考える必要があると思う。	堺市の地域ケア会議については3層構造となっており、個別・圏域レベルの課題をすいあげていき、市として取り組むべき課題を全体会議の場で話し合うようにしている。今後は頂いた意見を参考にしながら、全体会議の内容についても検討していきたい。
2	実際に堺市の高齢者の何%がスマホを持っているのか。スマホを持っていない人に対して、今後どのような支援をしていくかが大事だと思っている。	R4年度高齢者実態調査によると、堺市の高齢者のスマホ所持率は約7割である。使い方のサポートや情報格差をなくすための取組を進めている。
3	R5年度の区のネットワーク会議からICTの取組の必要性について報告があった。今後堺市としてのICTを使った取組についてどう考えているのか。	庁内の部局と連携しながら、民間の新しい技術の実証事業などを進めていく。また医師会でも、病院間のネットワークや多職種連携のバイタルリンクなどICTの活用を行っているので、連携して取組を進めていきたい。
4	堺市では、高齢者に関係する会議がこのネットワーク会議を含めて、高齢者福祉専門分科会と地域包括ケアシステム審議会がある。それぞれの会議の役割を考えたうえでこの会議で意見を計画に反映していくべき。	第9期計画については高齢者福祉専門分科会で意見を頂きながら検討を進めている。本会議での意見も分科会上げていきたい。
5	介護予防ケアマネジメント検討会議がマンネリ化している。始まって5年目でアセスメント訪問なども実施しているが、今後の介護予防ケアマネジメント検討会議についてどう考えているか教えてほしい。	介護予防ケアマネジメント検討会議にかけてよかったと思ってもらえるような検討会議になるように、現在運用の見直しを進めている。
○R4年度認知症施策の取組について、地域ケア会議の取組について		
6	事例報告をうけて、地域包括支援センターと地域の支援者がつながっていくのは大事だと認識した。こうした平常時からの地道な関係づくりの活動が大事と考えている。この事例を地域包括でも共有していただきたい。また高齢者がいる世帯をどのように支援していくか、重層的支援体制整備事業についても社協と連携をとりながら進めている。今後も全体をとらえながら、みんなで連携をとって進めていきたい。	
7	ケアマネジャーは、利用者を中心にして家族との関係性を深めている。地域包括支援センターは地域に根付いた活動を行い、ケアマネジャーは広い範囲の利用者に対応する必要がある。地域包括支援センターと連携をとりながら課題に取り組んでいきたい。	
8	民生委員として、月約100名ほどに「お元気ですか訪問」を行っている。問題があれば、地域包括支援センターと連携をとり、地域ケア会議にも出席している。色々な団体や地域と連携をとりながら、活動を進めていきたい。	
9	「お元気ですか訪問」はH18年度に事業を立ち上げ、今現在87校区で取り組んでもらっている、地域に根付いた活動である。今後も地域の支援を受けながら事業を進めていきたい。	